

# 税理士法人パートナーズ 経営支援セミナー2017 開催報告

## 15:30~16:10 第一部「中小企業と地域金融機関の新しい関係」

ITの進化のスピードは速く、1年で1しか進んでいなくても、10年で512まで進むと言われてしています。（指数関数的な進歩）

### 世の中の変化に対応する準備できていますか？

新しいことを始めるには資金が必要です。その時すぐに融資してもらえるような金融機関との関係性をつくる必要があるのではないのでしょうか。

金融機関と企業様の間には、**情報の非対称性**（情報格差）が存在します。今、金融機関は融資を行う際、財務データに必要以上に依存することなく、**企業の成長可能性等**を適切に評価する**事業性評価の時代**になっています。そのために・・・

ITを駆使して金融機関に情報開示し、信頼関係を築きましょう！！

企業の情報開示（**モニタリング情報サービス**、**ローカルベンチマーク**）  
将来を前向きに考えている意思表示（**早期経営改善計画策定支援**）



村瀬 潔

## 16:10~16:55 第二部「金融機関との対話を深め会社を強くするには」



山田まいこ

ローカルベンチマークとは

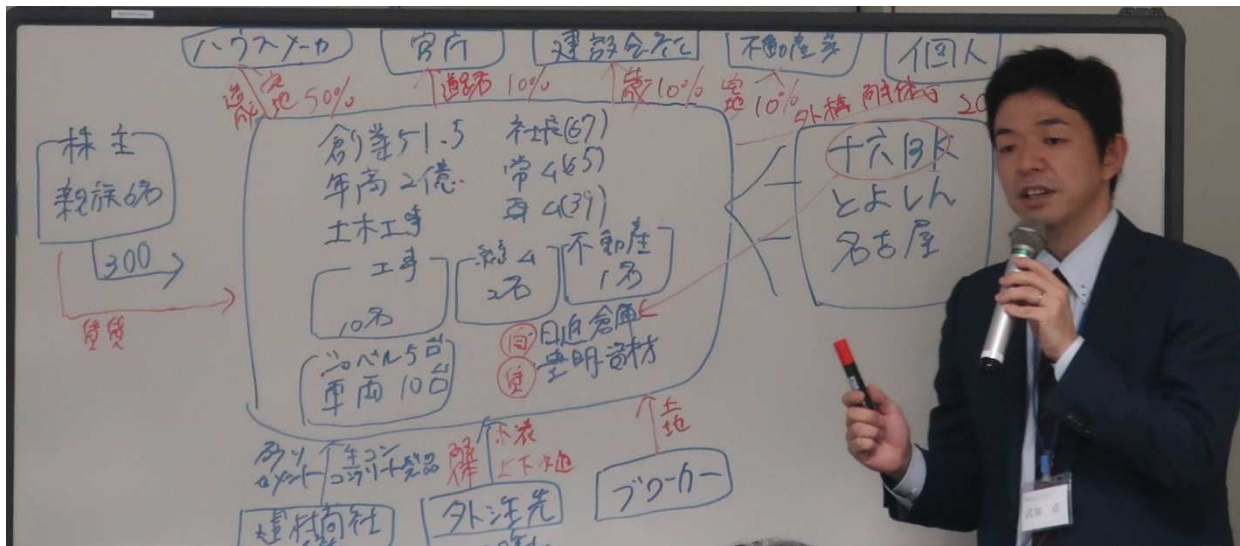
企業の健康診断を行うツール。財務情報と非財務情報からなるもの。**事業性評価の入口**として活用させることが期待されている。  
金融機関との対話を深める→経営状態をいち早く把握・支援する  
（共通言語：**ローカルベンチマーク**）

早期経営改善計画策定支援とは

経営革新等支援機関による支援のもと、国からの補助を受け資金実績・計画表や**ビジネス俯瞰図**など早期の経営改善計画書を作成。事業の**将来像**について金融機関に知ってもらうことができる。  
経営の見直しによる経営課題の発見や分析ができる。

## 16:55~17:25 第三部「ビジネス俯瞰図を実際に作成してみよう！」

当日ご参加いただいた関与先さまにお話を伺いながら実際にビジネス俯瞰図を作成しました！  
このように書き出すことにより、企業様を取り巻く環境を整理することができました。



武知卓